

20 東海七福神コース

歩く距離 4.8km(約6,000歩) 歩く時間 1時間30分 消費カロリー 406kcal



歴史や史跡がある町



活気がある町



冬におすすめ

東海七福神

東海七福神は、昭和7年(1932)に品川地区(荏原郡)が東京市に編入されたことを記念して「東海七福神初詣」が定められ、今に至っています。古くから東海道の沿道には、多くの社寺が建立されており、七福神も祀られていました。

東海七福神の参観期間は、1月1日から1月15日までと

なっています。参観期間中は、七福神巡り用の色紙が各社寺で有料頒布され、この色紙に各社寺の印を押していきます。このほか、小さな宝船に各社寺の福神像を載せていく七福神宝船も有料で頒布されます。七福神宝船は、神棚や床の間に祀ると良いとされています。

七福神各社寺

- 大黒天 品川神社
- 布袋尊 養願寺
- 寿老人 品川成田山一心寺
- 恵比寿 荏原神社
- 毘沙門天 品川寺
- 福祿寿 天祖諏訪神社
- 弁財天 磐井神社



東海道の歴史

「東海道」は、律令時代(7世紀後半～10世紀)に地域区画の名称として使われており、当時は「うみつみち」と読まれていました。一方、道としての「東海道」も、古くから東西を結ぶ幹線として利用されてきました。そして、慶長6年(1601)、徳川家康の全国統一に必要な事業として本格的な街道整備がスタートし、江戸時代の初めには、現在一般的に知られる「東海道(旧東海道)」の姿になりました。

